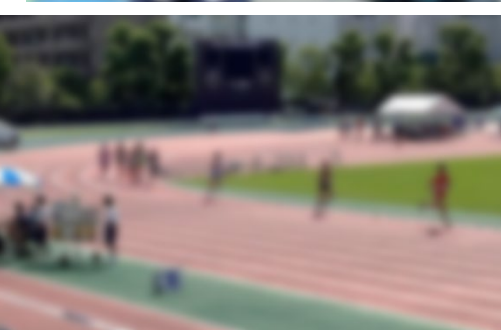




# 第74回連合体育大会総合優勝おめでとう!!



## 三連覇達成!



9月22日(木)、第74回荒川区立中学校連合体育大会が2年ぶりに開催されました。選手団総勢56名は早朝7時過ぎに集合し、江戸川陸上競技場へ向かいました。前日には生徒会本部が企画・運営した壮行も行われ、全校生徒がエールを送り、選手団も力の限り戦う決意を表明しました。

開会式後、トラックで長距離走、フィールドで走り幅跳びから競技が始まりました。各選手はこの日を目指して2学期に入り毎日続けた練習成果を出し切り、全力で競技に臨みました。競技が進むにつれ、校内は休み時間に結果の放送が行われ、そのたびに大きな拍手が選手団に向けて送られました。はじめに1位を獲得したのは、共通男子砲丸投で10m34を記録した〇〇〇さんです。続いて、3年女子100mで〇〇 〇〇さん、共通女子1500mで〇〇 〇〇さん、1年男子1500mで〇〇 〇〇さん

がトップでゴールを駆け抜けました。総勢で入賞者は18人に上り、リレーでは6競技中 5競技で入賞という好成績を収めました。この日全員が力を出し切って最高の競技を見せてくれました。

その結果、**南千住二中は、総合優勝に輝きました。見事三連覇達成の快挙**に会場の南千住二中選手団も校内で報告を聞いた生徒たちも拍手と歓喜の声に沸き立ちました。入退場や競技に臨む態度、場内でのマナーも大変立派でした。大会会場では、補欠として出場選手を支える生徒たちの応援そして献身的な活躍も光っていました。

帰校すると、吹奏楽部による「嵐のHappiness」の演奏と部活動などで残っていた生徒や先生方が大拍手で選手を迎えてくれ、選手一同晴れやかな気持ちになりました。選手団の皆さん、お疲れさまでした。そして、たくさんの感動をありがとうございました。

### 入賞おめでとう!

第1位

第2位

第3位

第4位

第5位

第6位



## 2年生 妖怪講座

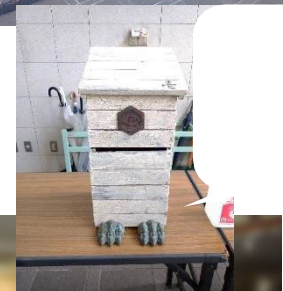
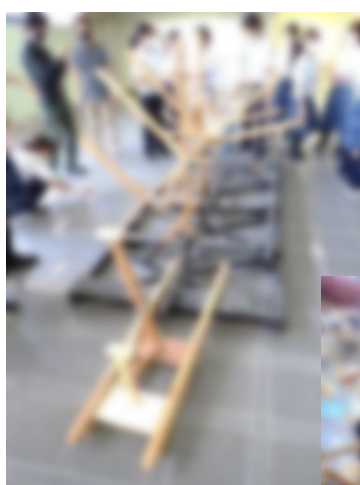
9月6日(火)の6校時に、造形作家の天野行雄さんとNPO法人千住すみだ川の海老江 重光さんを講師にお招きして、2年生の妖怪講座が開かれました。

妖怪講座では、海老江さんが長年集めてきた隅田川やその流域の南千住の街にまつわる言い伝えと、それをもとに天野さんが描いた妖怪の絵などをスライドで見ながら、いくつもの妖怪についてお話をうかがいました。今年の大霜月祭では、2年生は妖怪をテーマに劇を上演することもあり、大変興味深く、妖怪にまつわる話に聞き入っていました。

その日の放課後には、2年生の伝説探求部の皆さんが、今年リニューアルされる「亀の間の大亀」の解体を行いました。染色された紙や下地の新聞紙をはがし、骨組みの細い竹ひごを1本ずつ丁寧にとっていきました。竹ひごはリサイクルして新大亀に使用するため、接着に使われたガムテープも残すことなく綺麗にはがしました。木材の大きな骨組みだけになった姿からはまだ想像できませんが、霜月祭には3代目大亀となって登場する予定になっています。どうぞお楽しみに！

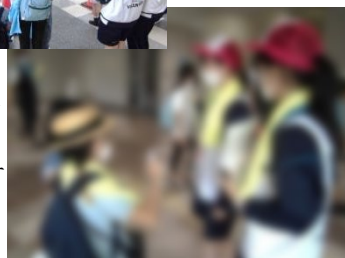


海老江さん(左)と天野さん(右)



## わくわく街あるきたんけん隊

9月11日(日)に、中学生ボランティアが地域の小学生に史跡・文化財の歴史や言い伝えなどを紹介する「わくわく街あるきたんけん隊」が行われました。本校からはスーパーレスキュー部の12名がガイド役として参加。感染症拡大防止のため、当日の参加人数は限られましたが、前日までにスーパーレスキュー部全員で地域について調べ、イラストやクイズを交えた説明用フリップなどの準備をしました。当日は、小学生と一緒に円通、寺、都電三ノ輪橋駅、素盞雄神社を巡り、史跡にまつわる物語などの説明を行いました。途中には、荒川工業高校では特別プログラムに参加。落雷実験やラジコンカーの操縦などを体験しました。大迫力の実験に驚き、ラジコンカーで障害物を避けながらゴールを目指すなど、貴重な体験の数々を楽しみました。荒川工業高校の皆さん、ありがとうございました。また、毎年分りやすく楽しいと小学生に大人気のボランティアガイドを務めた皆さん、お疲れさまでした。



## 1年生清里移動教室

9月14日(水)～16日(金)の3日間、「清里移動教室」が行われました。感染症対策のため、1年生にとっては小学生・中学生を通してはじめての宿泊行事となりました。皆心を弾ませ、笑顔で元気よく運転手さん、ガイドさんに挨拶をしてバスに乗り込みました。今年のスローガンは『154人の成長～友情を深め、楽しい思い出つくり☆～』。「互いに友情を深め、楽しい思い出をたくさんつくり、全員がひとまわり大きく成長して帰ってこよう」という願いが込められています。

心配されていた天候不順もなく、最初の目的地・清泉寮に到着する頃には、晴れ渡った空と秋の気配漂う高原の景色が広がりました。芝生の上でお弁当を食べた後、美し森オリエンテリングに出発しました。班ごとに順番にスタートし、地図を見ながら南千住二中オリジナルポストを探して、自然ふれあいセンターを目指します。カラマツ林をおよそ1周して、ポストに書かれたクイズに答えて、記録していきました。ゴールは清泉寮。途中道に迷う班もありましたが、お互いを励ましあいながら、全班が制限時間内に到着できました。夜は、体育館や宿舎の周辺を使って、8グループに分かれナイトハイクを楽しみました。8人のレンジャーさんに、暗い森の中を案内いただき、歩きながら生物の発する音に耳を澄ませたり、土や植物に触れてみたり、マットを敷いた上で目を閉じて自然を感じて、清里周辺に生息する動物や昆虫について学びました。

2日目は、車山肩から八島ヶ原湿原の八島山荘を目指しておよそ2時間のハイキングを行いました。途中車山の山頂では霧ヶ峰高原を背景に全員で写真を撮影。ひととき景色を楽しんだ後は、今回の最大の難所、急な下り坂が続く岩肌伝いに八島湿原ビジターセンターを目指しました。全員遅れることなく、すずきの穂が風に揺れる初秋の景色を楽しみながら湿原の木道を散策して、ゴールのビジターセンターに到着。甘いソフトクリームをいただいて、少々疲れ気味の表情が一転して、笑顔が溢れました。宿舎に戻り、おいしいカレーを何度もおかわりした後は、体育館で、レク係が2週間かけて用意した、じゃんけん列車、ばくだんゲーム、○×クイズ、たけのこニョッキなどの大レク大会で盛り上がりました。

今回の清里移動教室では、各係、部屋ごとの活躍も素晴らしいものがありました。各部屋では、荷物や靴などがつねにきれいに整理されていました。班長、学習記録、美化保健、食事、入浴、レクの各係が時間通りに積極的に働きました。3日目の朝の宿舎清掃では、階段を雑巾で磨き上げる姿なども見られ、自主的に活動する様子に成長を感じました。退園式を済ませ、「山梨県立考古資料館」に向かい、実際の古墳に上ってみたい、縄文時代の火起こし体験をしました。その後「リニア見学センター」に移動して、リニアモーターカーの試運転の様子やしくみを紹介した展示物などを見学して帰路につきました。

今年のスローガン通り、1年生一人一人にとって、学年という集団にとって大きな成長を遂げた3日間でした。

